

交流センターだより



No.168
令和5年
3月号

おおとし

大歳地域交流センター
公式Twitter アカウント

発行 大歳地域交流センター TEL 922-4035 FAX 922-4036 人口 14,040 世帯数 6,882
開館時間 8時30分～17時15分 (行政窓口 TEL 922-2461) 令和5年2月1日現在

「令和5年度パソコン講座」参加者募集!

令和5年4月からのパソコン講座の新規受講者を初級、中級それぞれ15名募集します。受講生は年間を通してパソコンの知識や操作を学びます。

初級はパソコン初心者を対象とし、中級の方は、ワード、エクセル、インターネット、メール等が多少できる方を対象にしています。4月から皆さん一緒に学習をスタートしますので、パソコン初心者の方もこの機会に是非ご参加ください!

※参加費は無料です。パソコンをお持ちの方はご持参ください。

申込み: 大歳地域交流センター (TEL 922-4035)

※申込者多数の場合は抽選とします。



初級講座

内容: 基本操作、ワード基礎編、
エクセル基礎編
日時: 第1・2・4・5金曜日
10時00分～12時00分
募集: 15名程度
申込期間: 3月1日(水)～
3月24日(金)まで
開講式: 4月7日(金)

中級講座

内容: ワード応用編
エクセル応用編
日時: 毎週火曜日
10時00分～12時00分
募集: 15名程度
申込期間: 3月1日(水)～
3月24日(金)まで
開講式: 4月4日(火)

パソコン相談

内容: パソコンに関する疑問
にお答えします。
日時: 第3金曜日
10時00分～12時00分
※受付は毎回10時00分～
10時30分まで

みんなのひろばからのお知らせ

3月の「みんなのひろば」は、健康教室です。転倒や骨折について、日常気をつけたい予防法や体操を教えてください。どなたでもお気軽にご参加ください。

日時: 3月18日(土)
13時30分～15時00分
場所: 大歳地域交流センター 講堂
講師: 澄川 絵里奈先生 
参加費: 100円
(おやつ・ドリンクバーもあるよ!)
問い合わせ: 大窪 (080-2904-8193)

母推さんの子育て応援講座

3月はベビーヨガです。親子で楽しく体を動かしましょう。ご参加お待ちしております♪

定員に達しました

場所: 大歳地域交流センター 和室
講師: 米屋 麻香さん
対象: およそ3ヶ月以上～1歳程度の乳幼児とその保護者(先着8組)
持参物: 飲みもの、バスタオル、おむつ
申込み: 大歳地域交流センター
(TEL 922-4035)
※3月1日(水)から受付開始 

大歳ヨガ教室に参加してみませんか？

深く長い呼吸は、血流をアップさせたり、自律神経を整えたり、心身の健康にとっても有効です。

自分のため、健康のため、始めてみませんか？

《毎週火曜日》

- 13:00～14:00 昼ヨガ①(60分)(あと4～5名程度)
- 14:15～15:15 昼ヨガ②(60分)(あと2～3名程度)
- 15:30～17:00 昼ヨガ③(90分)(あと4～5名程度)
- 18:30～20:00 夜ヨガ(90分)(あと4～5名程度)



- 無理をせず、自分のペースで行っていきます。
- 主にシニアの方が中心にされています。(男女問わず)
- 体重が減った、健康診断の数値が良くなった、心身がスッキリする等、喜んでもらっています。
- コロナ禍のため、定員を設けています。
- 初回体験は無料です。



問い合わせ等

岡崎：090-3638-1152

電話に出られないこともあります、2日以内に必ず折り返します。

食生活改善推進員の新会員を募集します！

食生活改善推進員は、健康的な食生活や健康づくりについて学び、自分や家族の健康づくりに役立てるとともに、地域の方に伝える中で、やりがいや生きがいを感じながら楽しくボランティア活動をしています。

食育に関心のある方、地域でのつながりが欲しい方にお勧めです。全6回(6月～2月)の講座を受講後、翌年4月から会員になります。受講料は無料です。詳しくは、下記にお問い合わせ下さい。

一緒に活動しましょう！
大歳食生活改善推進員 青木

問い合わせ：健康増進課 (TEL 083-921-2666)



榎野川水系における可動堰点検のお知らせ

＜実施日＞令和5年3月20日(月)(予備日:3月22日(水))

出水期に備え、各可動堰の点検を下記日程にて行います。点検中は増水などに伴う事故の発生が懸念されますので、河川内に立ち入らないようご協力をお願いいたします。

【お問い合わせ】

防府土木建築事務所 山口支所
維持管理第二課 管理班
(TEL 922-2797)

河川名	堰の名称	所在地	転倒開始	起立開始	備考
榎野川	淋洗	小郡下郷	12:00	13:30	
		柳田	15:00	16:00	
	矢原	三和町	12:30	14:30	
	高井	上平井	13:00	14:30	仁保川
	今井出	宮野上	13:00	14:00	
吉敷川	一の井手	宮野上	13:00	13:30	
	千代丸	朝田	12:00	13:30	
	湯田	矢原	12:30	13:00	

鴻南地域包括支援センターからのお知らせ センター定期利用団体大掃除&利用調整会議のお知らせ

「防ごう！消費者被害」

高齢化を背景として、架空請求や悪徳商法などの「消費者被害」が増加しています。特に最近では、インターネット関係のトラブルが増えています。

高齢者の健康やお金、孤独の不安に対し、悪徳業者は、電話や訪問で言葉たくみに不安をあおり、高齢者の大切な財産を狙っています。

★疑問・不安を感じたり、詐欺だと思ったら、一人で迷わずに、まずはご相談下さい。



◎警察総合相談窓口 #9110

◎消費者ホットライン 188 (いやや)

◎山口市消費生活センター 083-934-7171

★ご不明な点はお気軽に、包括支援センターへ

問い合わせ先：山口市鴻南地域包括支援センター ☎ 083-934-3333

下記日程で大歳地域交流センター定期利用団体大掃除及び年間利用調整会議を行います。対象団体の方はご参加の程、よろしくお願ひいたします。

日時:3月12日(日)8:30~

場所:大歳地域交流センター(玄関前集合)

※ぞうきんをご持参のうえ、各団体から2名程度参加をお願いいたします。

※掃除終了後、調整会議を行います。各団体から必ず1名のご参加をお願いいたします。

【お問い合わせ】地域担当 (TEL 922-4035)

大歳小学校体育館定期利用団体大掃除のお知らせ

下記日程で、大歳小学校体育館の大掃除を行います。対象団体の方はご参加の程、よろしくお願ひいたします。

日時:3月5日(日)8:00~

場所:大歳小学校体育館

※ぞうきんをご持参のうえ、各団体から2名程度ご参加をお願いいたします。

【問い合わせ】地域担当(TEL 922-4035)

【大歳地区 3月 の予定】

- 2日(木) 燃やせないごみの日
- 5日(日) 大歳小学校体育館清掃(8:00~)
- 8日(水) 母推さんの子育て応援講座(10:00~11:00)
- 10日(金) ぶっくん来館日(15:20~16:00)
- 12日(日) センター定期利用団体清掃と会議(8:30~)
- 13日(月) 金属・小型家電製品の日
- 15日(水) びん・缶の日



- 17日(金) 大歳小学校卒業式
パソコン相談(受付 10:00~10:30)
 - 18日(土) みんなのひろば(13:30~15:00)
 - 22日(水) 古紙ペットボトル分別収集(大歳①)
 - 24日(金) ぶっくん来館日(15:20~16:00)
 - 30日(木) 古紙ペットボトル分別収集(大歳②)
- ※木曜日はプラ容器包装分別収集



榎野川の沖積地に出来た地域と矢原堰

～富田原・今井上・今井下地区～

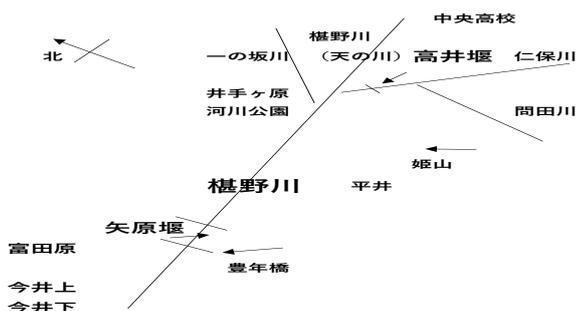
昨年12月に、富田原・今井上・今井下地区の史跡看板を、今井上の集会所の隣の駐車場に設置しました。大歳史談会（会長・武波義明）は、この間、大歳まちづくり協議会（スポーツ・文化部会）の下で、大歳を6地域（三作・和田・朝田・馬庭・河内地区、高井・勝井・坂東地区、岩富・黒川市地区、下湯田・下矢原・西矢原地区、矢原地区）に分け、それぞれに史跡看板を作ってきましたが、今回の史跡看板で6個目になります。この地域は、仁保から出る仁保川、小鯖、大内から出る問田川、宮野を本源とする榎野川（天の川）、さらに上宇野令の錦鶏の瀧付近に源を発する一の坂川が、姫山の北ふもとで出会う榎野川の沖積地にできてきたことが特徴の1つです。

平川地域について書かれた「増補 平川文化散歩」（石川卓美著）の中に、「榎野川の堤防がまだ固定されていない昔は、川筋も一定せずに豪雨のたびにあちこちに流れ、久しく盲流状態が続いたに違いない。氾濫によって平場地帯の生活が不安だとすると、山の手方面の扇状地形の台地が耕作にも適し、安定した生活舞台であったはずである。原始古人はこの方面に安住の地を求めて開拓し、吉田遺跡をはじめ、古代遺跡や遺物発見地は山の手方面に集中していることがこれを立証する。」また、「姫山のふもとの平地に平井村があるが、榎野川の氾濫で開発がおくれたものか、村名の初見は室町時代の応永32（1425）年の寺大恩寺の洪鐘の銘文に出るのが初見である。」とあります。

明治はじめまで対岸の平井村に属していた富田原や今井上、今井下辺りに村落ができるのは、榎野川の水をせき止めて、榎野川の水を農地への水路の整備が必要でした。それは、矢原堰^(註1)とそこから農地に水を供給する用水路をすることでした。矢原堰を作り、その維持と、農業用の水路が広がっていくなかで、水路はこの地域だけでなく、矢原地域のほぼ全域（朝田神社近くまで）と湯田・吉敷地区の一部まで広がっています。

矢原堰の歴史の中で、近代に入り、矢原堰の維持・管理、改良に尽力された方がいます。それは富田原の杉山譽重です。当時は「杭打ち方式」といわれ、毎年春先から堰の修理（杭の打ち込みや板はり等）や、水量を調整する作業が発生し、ひとたび大雨が降ると杭まで流されるという状況でした。彼は、30代で矢原堰の井手総代になり、40余年にわたり矢原堰の保守・管理、改良に尽力し、昭和10年代に、念願のコンクリート堰^(註2)を完成させた人です。（註1）平井地域に用水を供給するのは高井堰。

（註2）このコンクリート堰は昭和47年に水害で損壊したため、現在の可動式矢原堰に変わっています。参考「続 山口県地名考 高橋文雄」によると、「イマイとは『新しくできた集落』のことで・・・イマイという呼び方は（開発が早かった）中部地方から近畿地方に多く、西日本に散在している。・・・県下のイマイには「新しい用水路」をいうのもあるらしい。」また、「新南陽市の富田はトンダというが、これは「和名抄（平安時代中期に作られた辞書）に止無田（トムタ）とあるものがトンダになったものである。トムタ・トンダとは「湿地・泥地」をいうドダ・ドタに佳字（良い意味の言葉から創作された地名）を当てたものではないか。」とある。（文責：大歳史談会 白上茂樹）



榎野川の沖積地付近の略図



矢原堰（榎野川の平井地区から）